

【概要】

九州大学の学部教育における基幹教育において、特に優れた成績を修めた学生を顕彰することにより、その学修意欲を高め、もってアクティブ・ラーナーとして生涯学び続ける心構えを持ち、自ら新たな知を創造し再構築し続ける先駆者人材の育成に資するため、平成27年度に「九州大学基幹教育奨励賞」を創設しました。

学部1年次に履修した基幹教育科目の成績が特に優れている学生を「九州大学基幹教育奨励賞」の受賞者として総長が決定して表彰してきました。受賞者には国内外での学修活動を支援するため、令和7年度入学者は、30名程度に一人当たり50万円の奨学金を支給しました。（令和6年度入学者まで50名以内、35万円支給）なお、奨学金を受ける際に学修活動計画書を、3年次終了時に活動報告書を提出していただきます。

【実施スケジュール（2年次）】

6月中旬頃 受賞者決定

7月上旬頃 授与式開催

7月中旬頃 学修活動計画書の提出

【令和8年度授与式】

令和8年7月6日に伊都キャンパスにおいて、令和8年度九州大学基幹教育奨励賞授与式を挙行了しました。



園田理事・副学長（教育担当）から表彰状を授与された受賞者からは、「これまでの学業への取り組みが評価されて嬉しい。」「海外進学や海外就職など、幅広い進路について考えていきたい。」「授賞式で留学など見識を広げることを推奨されたので、専門分野のほかに、語学力などの向上に奨学金を使いたい。」「これから一層気合を入れて学習に勤しんでいきたい。」等といった声があり、受賞の喜びや今後の学修活動への意気込みを強く感じました。

受賞者の今後の学修計画では、多くの人が留学・語学研修等海外での学修を目指しているほか、インターンシップやプロジェクト等への参加、語学検定や資格取得等、積極的な取組が予定されています。

【基幹教育奨励賞受賞者の学修活動（過去の受賞者の学修計画書・報告書から抜粋）】

海外の学修活動

○短期留学、海外プログラム

- ・オーストラリアへの留学（5 週間）
- ・イギリスのラフバラー大学にてパビリオン設計の建築ワークショップに参加
- ・アメリカ・イリノイ大学への短期研修に参加（2 週間）
- ・シンガポール国立大学への交換留学へ参加
- ・ケンブリッジ大学英語・学術研修への参加（3 週間）。授業料、渡航費、滞在費等に使用
- ・九州大学春季海外短期研修シンガポール・マレーシア 2 都市スタディツアーへの参加(10 日間)
- ・Q2PEC（工学部主催 豪州クイーンズランド大学短期留学プログラム）に参加し、約 5 週間のホームステイを経験
- ・ケンブリッジ大学英語・学術研修への参加
- ・NASA JSC（Houston）への短期留学プログラム"Global Education Program in NASA"に参加
- ・九州大学主催文化体験と名門大学ビジットツアー【シンガポールコース】への参加
- ・九州大学経済学部 GproE のプロジェクトの一環であるオーストラリア研修への参加
- ・マーシャル諸島共和国マジュロ環礁およびアルノ環礁の巡検および各機関（マーシャル諸島短期大学 CMI、マーシャル諸島海洋資源局 MIMRA、自然資源・商業省、JICA マーシャル支局、日本大使館）を訪問
- ・AsTW（九州大学と ASEAN 加盟国の有力大学が共同で開催する、英語による ASEAN と東アジア、及びアジア言語文化を学ぶ短期留学プログラム）に参加し、ベトナム国家大学ハノイ校へ短期留学
- ・「タイの言語と文化」を履修し、タイのマヒドン大学に 2 週間の短期留学
- ・ケンブリッジ大学英語・学術研修
- ・アントレプレナーシップ・米国セミナー（九大 QREC が実施するアントレプレナーシップと国際意識の涵養のためのプログラム）に参加
- ・SVEP（シリコンバレー英語研修プログラム）に参加し、英語研修、現地学生とのグループワーク、ホームステイ、シリコンバレーの企業見学
- ・ELEP（工学部の短期留学プログラム）に参加し、サンノゼ州立大学での英語研修、シリコンバレーにある大学や企業等の訪問、デザイン思考を学ぶワークショップ、ホームステイなどを行う。
- ・Q²REC（工学部の短期留学プログラム）に参加し、オーストラリア・クイーンズランド大学の工学部及び語学学校に 6 週間留学
- ・ALEP（農学研究院の海外プログラム）に参加し、アメリカのU N S W大学に短期留学
- ・TOMODACHI-Microsoft iLAEPに参加（シアトルで3週間・日本で5ヶ月間を通して、ソーシャルイノベーションを学ぶプログラム）
- ・イギリス、フィリピン、カナダ等の海外の語学学校で約1ヶ月の語学研修
- ・カリフォルニア大学デービス校での1ヶ月の英語研修、異文化間の調査・プレゼン、ホームステイ
- ・アイスランドでの国際ボランティア
- ・ossep（理学部の短期留学プログラム）に参加し、オレゴン州立大学に短期留学
- ・オーストラリア・モナシュ大学英語研修に参加

- ・フィンランドに3週間語学留学
- ・台北医科大学で短期間の研究・技術習得プログラムを実施する。
- ・国立台湾大学社会科学学院への交換留学
- ・台湾師範大学へオンライン留学
- ・薬学部交換留学プログラム参加（5週間・タイ・マヒドン大学）
- ・ASEAN Youth Initiative Empowerment Program 2021 オンライン参加（インドネシア・ガジャ・マダ大学主催）
- ・農学研究院の研修プログラムへ参加（イリノイ大学）
- ・ミシガン大学との交換留学

○長期留学

- ・シンガポール国立大学へ交換留学（1学期間）
- ・部局間交換留学により台湾へ留学（4か月）
- ・大学間交換留学で、アメリカ合衆国アリゾナ州にある北アリゾナ大学に約9か月留学
- ・シンガポール国立大学へ交換留学。物理学等の授業を英語で履修。
- ・北アリゾナ大学への1年間交換留学し機械工学を学ぶ。
- ・オーストラリアのクイーンズランド大学に1年間交換留学

○海外訪問・国際会議参加など

- ・ヨーロッパ研修（EUの機関訪問）
- ・カナダへの語学研修に参加
- ・大連理工大学大学中日同窓生友情サマースクールに参加。交通費、宿泊費等に使用。
- ・フィリピンでの語学研修に参加（2週間）。授業料、宿泊費、渡航費等に使用
- ・中国への短期研修（九州・山口大学生友好訪中団）
- ・文化体験ビジットツアー（シンガポールの複数の大学にて現地大学生との交流）に参加
- ・海外での文化体験、語学力向上のため、ヨーロッパ（複数国）を訪問
- ・1週間西欧へ赴き、薬学に関連した事柄を学ぶため薬局等を見学
- ・タイで開催の国際学生シンポジウムに参加。国連が取り組む諸問題や将来のリーダーについて、国連職員や各国の学生を交えてディスカッションし、有意義なネットワーキングを行うことができた。
- ・オランダの医療制度、安楽死、障害の学習のためオランダを訪問
- ・ベトナム訪問を自身で計画し実施
- ・worldship orchestra（海外ボランティア）に参加
- ・福岡県人会青年派遣プログラムによるメキシコ派遣への参加
- ・ネパールでの震災復興ボランティアに参加
- ・学生会議・留学プログラムへの参加（事前学習：東京他、本会議：アメリカ）
- ・イギリスのラフバラー大学にて行われる建築ワークショッププログラムへの参加
- ・文化体験ビジットツアー（シンガポール）に参加

○国内の学修活動

- ・アントレプレナーシップイベントに参加
- ・法律書の購入

- ・医学の学習に必要な参考書や問題集の購入
- ・日商簿記検定 3 級の受験。テキストや参考書の購入
- ・英語の単語帳や文法書、洋書の購入
- ・気象予報士試験の受験。受験料や参考書、問題集の購入
- ・公務員試験対策に充当
- ・自学科での設計課題で必要となる模型材料の購入
- ・長期のインターンシップへの参加
- ・インターンシップをきっかけにし、複数の土木構造物・土木遺産の見学
- ・複数のインターンシップに参加。交通費、滞在費
- ・語学力向上のための英会話受講費に充当
- ・看護実習の費用に充当。I 型糖尿病を有する小児サマーキャンプへの参加費、滞在費
- ・音楽・音響に関する学習活動（楽器博物館への訪問、ヤマハミュージアム訪問、音響機器及び音文化、楽器音響学などの書籍購入）
- ・教員免許取得のため介護等体験への参加費・交通費
- ・資格を取得（IT パスポート試験、乙種第 4 類危険物取扱者）、それに係る受験料や参考書の購入
- ・TOEIC の受験費用・教材の購入
- ・大学院への進学（受験）準備として、主に臨床心理系と英語の学習
- ・アーティスティックスポーツに関する研究と論文執筆
- ・静止軌道上の宇宙デブリ光学観測による破砕起源推定の研究
- ・国土交通省中国地方整備局へのインターンシップに参加
- ・モータードライバーなどのロボットを動作させる基板の作成やロボット制御を学習・実践し、NHK 学生ロボコンなどの大会に出場
- ・九州大学理学部生物学科、薬学部、農学部の有志研究室が主催する研究体験コース「西風塾」に参加
- ・九州大学農学部の COIL-NEXT プログラムに参加
- ・授業の一環で文部科学省をワンデイ訪問し、若手文科官僚の方々と対話
- ・経済産業省が文部科学省と共同で開催した教育フォーラム“Education × Finance Forum Japan 2024”に参加し、教育関係者と対話
- ・H3 ロケットの打ち上げを見学
- ・日本パラメンタリーディベート連盟(JPDU)の役員や国際英語ディベート大会「Kyushu Debate Open (QDO) 2024」の大会実行委員長、高校生英語ディベート大会の Adjudication Core や Invited Adjudicator、さらに Chief Adjudicator を務める
- ・企業を訪問し、各企業で行われているエンジン開発や製造プロセスを学ぶ
- ・所有する二輪車の定期的な整備・解析により、機械的な理解を深めると共に、実践的な工学的知見を得た
- ・糸島市が開催する九大寺子屋事業にボランティアとして参加
- ・熱帯医学研究会での活動に参加し、台湾の陽明交通大学医学部から来た学生との交流を行う台湾エクスチェンジおよび班活動で児童精神病棟のある病院の見学し、知的障害をもつ子どもの保護者・支援者・精神科医・教育委員会へのインタビューを行い、小児科学会へ参加した
- ・G 検定・受験、G 資格・E 資格取得（一般社団法人日本ディーブラーニング協会（JDLA）が実施する、AI・デ

イーブラーニングの活用リテラシー習得のための検定試験)

- ・ C#、python の基本事項と unity で使用できるプログラムの学習し、ゲーム制作・内容改善
- ・ chatbot 制作で使用するライブラリについて学習し、chatbot を制作
- ・ BLS（一次救命処置）プロバイダーコース（American Heart Association 提供）の受講・資格取得
- ・ 色彩検定 2 級・UC 級を受験
- ・ ゲーム企業やエンタメ企業インターンシップへの参加
- ・ 少林寺拳法部の世界大会（東京開催）運営スタッフとして参加
- ・ 知的財産法に関する判例研究
- ・ 国内の家族に関する取組として、貧困問題に関する学習活動や学習支援ボランティアなどを実施
- ・ 地域と学生の交流拠点として、元岡商工会と連携しているサークルの代表として、地域のお祭りをゼロから創り上げる。
- ・ 福岡県内高校の生物部の生徒対象の PBL 合宿に参加
- ・ 国立天文台のスプリングスクールに参加
- ・ 専門分野の学習と平行して、医学研究院のヒトゲノム幹細胞医学分野において卵細胞の研究
- ・ 農業等の実習やフィールドワークに参加
- ・ U I インターンや地域活性化に力を入れている企業のインターンシップに参加
- ・ 建設会社のインターンシップに参加
- ・ 東北支援団体 Project-架け橋によるボランティア活動への参加
- ・ PLANET-Q（九大のロケット制作サークル）でロケットコンテストに向けた活動。ロケット打ち上げに成功
- ・ PLANET-Q で能代宇宙イベントに参加
- ・ ロボコンサークルでの活動
- ・ 英語力向上のため TOEIC、TOEFL の学習・受験
- ・ 英会話をオンラインで受講
- ・ 英語でのアニメ鑑賞
- ・ 中国語検定の学習・受験
- ・ ハングル検定受験
- ・ 仏語検定受験
- ・ 公認会計士取得に係る学習
- ・ 公務員講座の受講
- ・ 福岡県グローバル青年の翼 2019 に参加
- ・ 高知コア研究所コアスクールに参加
- ・ 環境化学物質合同大会に参加
- ・ 議員インターンシップに参加
- ・ 霞が関インターンシップに参加
- ・ NPO 法人いるかの学習支援ボランティアへの参加
- ・ NPO 法人いるかの子ども養育支援事業への参加
- ・ 高額な専門書を購入でき、早期修了で大学院入試に合格
- ・ 司法予備試験を受験

- ・ 献整理ソフト ENDNOTE の購入
- ・ 学術書、洋書の購入
- ・ 教員採用試験対策雑誌「教職課程」の定期購読やその他必要書籍の購入
- ・ 気象予報士及び防災士試験を受験
- ・ 天文学会への参加
- ・ 飛び級試験に合格、4月から大学院生となる。
- ・ MOS 検定受験
- ・ 心電図検定受験
- ・ Hult Prize 世界予選東京大会への参加
- ・ IT パスポート取得
- ・ 危険物取扱者乙 4 種を受験
- ・ 日本農業検定を受験・合格
- ・ 宅地建物取引士を受験・合格
- ・ 東京証券取引所のサマークラスへ参加
- ・ 米国医師資格試験（USMLE）のための学習
- ・ 韓国語能力試験（TOPIK）を受験・合格
- ・ プログラミングのための学習
- ・ 3Dプリンターの購入

受賞者から後輩へのメッセージ

- ・ 迷っていることはとりあえずやってみることは間違いなく大事。なんなら、それではじめてみたことは、せっかくだから続けるべき。新しいことに挑戦する際、親や大学に補助してもらえることなんて大学生のうちだけ
- ・ 大学で学ぶことができている今の状況、周りの人への感謝を忘れずに、自分の学習をさらに深め、社会に貢献できるような人になってください。
- ・ この奨学金は誰でももらえるものではないし、1年生という大学に合格して1番何でもできる時期にコツコツ努力を積み重ねてきた方だからこそ掴み取れるものだと考えています。奨学金をいただけたことに満足せず、躊躇わず自分がやりたいことをやってみてください。
- ・ 海外渡航は自分の価値観が変わるので是非体験してみてください。特に大学を通じたプログラムでは、個人旅行では行けないような専門機関を訪問したり、貴重な体験ができたりします。短期のプログラムもあるのでおすすめです。
- ・ 基幹教育奨励賞は学内でも限られた学生のみが得られる貴重な機会です。ぜひ、自身の知見や経験を広げるために有効に活用し、積極的に新しいことへ挑戦して欲しいと思います。
- ・ この奨学金は自分について新たな気づきを得る素晴らしいきっかけだと思います。ものを買うのも良いですが、体験にはそれに勝る価値があると思っています。ぜひあなたをもっと楽しませるような、もっとワクワクしてしまうようなことに、またはそれを見つけるために、この奨学金を使うことをお勧めします。
- ・ 専門分野外の教授からお話を聞ける機会は基幹教育の時期を逃すと得難いものです。積極的に講義に参加し、奨学金の取得も共に目指されてみることをお勧めします。
- ・ 大学生活でたくさん悩み、自分の可能性を広げることを厭わない、恐れなideほしい。

- ・文系の学生はたくさん本を読まないと始まりません。たくさん本を読みましょう。
- ・奨学金をもらえたことで終わりにせず、そこからの大学生活に活かせるよう頑張ってください。
- ・大学の授業に対して意欲的に取り組むことで奨学金の獲得に繋がり、更にこの奨学金により大学における学習生活をより有意義に過ごせるようになる、という大変ありがたい制度だと感じているので、ぜひ奨学金獲得を目指して更に意欲的に1年次の学習に励んでもらいたいです。
- ・奨励賞の受賞をきっかけに留学を決めました。みなさんもこれを機に新しいことにチャレンジしてみてください！
- ・留学は様々な意味で自分を大きくしてくれます。予想以上の学びが無数に得られます。ぜひ大学生という絶好の機会を逃さずにチャレンジしてください。
- ・基幹教育奨励賞は自分の見識と価値観を広げるための資金として役立ちます。九大は全学でも各学部でも短期海外研修プログラムが充実しているので、ぜひ国内の活動だけでなく、海外にも目を向けてほしいと思います。オンラインと現地では得られるものが大きく異なるので、現地のプログラムに参加されることをおすすめします。
- ・本奨学金は、使い方が大切です。安全策よりも、多少の勇気が伴う使い道を選ぶことをおすすめします。すると、お金の価値を超えた何かが手に入るかもしれません。
- ・基幹教育奨励賞は、自分の学びたいという想いを実現する一つの手段になってくれます。学び続ける姿勢を忘れずに、学びたいことを探し、深めていってください。
- ・学生の間は、自由に使える時間も多く、学びたいことを学んだり興味のあることに挑戦したりする貴重な機会になると思います。奨学金を活用して、さまざまな学びや経験を積み、将来への糧にしてほしいです。
- ・基幹教育奨励賞は、今後進みたい将来への展望を一步先に進める足掛りになると思います。何かに挑戦する契機になるため、自分の将来を見つめ直し、様々なことに思い切って取り組んで欲しいです。
- ・金銭面での余裕ができると新しい物事にチャレンジしやすくなり、結果的に自分の将来の選択肢が広がります。基幹教育のGPAを維持するのは大変だと思うけど、頑張った分の見返りは十分にあると思います。
- ・基幹教育奨励賞は、今までやってこなかったことに挑戦できるととても良い機会だと思います。私は大学で初めて海外に行ったのですが、日本との文化の違いについて身をもって体験することができ、自分の視野が広がったと感じています。皆さんも少しでも興味があれば、留学に限らずいろいろなことに挑戦してみてください。
- ・やりたいことは、たくさん情報収集して臨むとより有意義な経験になると思います。
- ・奨励賞は、海外へ渡航して視野を広げたり、自分の興味分野を深めたりする良いきっかけになります。ぜひ皆さんも自分のために役立ててください。
- ・大学では、高校よりさらに自由に勉強できますが、何を勉強すべきなのかということを自分で考えなければなりません。勉強したいことは山のようにあると思いますが、自分の興味や割くことのできる時間やお金を考えて、優先度をつけて勉強していくと良いと思います。
- ・基幹教育は、専門分野外のことを学ぶことのできるとても良い機会だと思っています。興味の有無によってだけではなく、全く新しいことでも、どんどん踏み込んでみてください。得た知識はいつどこで役に立つかは、本当にわかりません。また学べば学ぶほど、知識同士を繋げて使いこなすのもうまくなると思います。大学生生活を十分に活用して、学び倒してやるくらいの心意気で是非、頑張ってください。
- ・大学生という限られた貴重な時間を活かすためにも、基幹教育奨励賞を通じて経済的な問題を取っ払い、高い志を持ってさまざまなことにチャレンジして下さい。

- ・奨学金は海外に行くきっかけとして欲しい。九大には世界を知ることができるプログラムが多数存在します。多数の経験をする事で常に広い視野、高い目標をもちアクティブ・ラーナーとして日々の活動に取り組み、将来世界で活躍する人材になろうという心構えを持って欲しい。
- ・留学は下調べなどの準備は早めに。専門分野とは関係ない授業をとって専門分野に影響がでたらどうしようと悩まずに、取りたい講義を取ってください。自分のモチベーションになったり、思わぬところで役に立ったりします。
- ・基幹教育は社会人になる前に、自分が専門としていく道を社会の中で客観視し、意味づけを強く持つために必要な大切なことを学べる貴重な機会。自ら興味関心から問いを立てて真理を追求する「学問」へ移行するための学びの姿勢を身につける時期。たとえ興味が湧かなくても、一度基幹教育を熱心に取り組んでみてください。
- ・自分にできないことを決めつけ避けている人も多いのではないだろうか。自分はその一人であり、大学内での学習だけでは専攻科目を学ぶにつれて、なおさら視野が狭くなる一方だと感じていた。もしそのような自覚があれば、この機会に是非今まで経験したことのない物事にチャレンジして欲しい。
- ・本物のアクティブ・ラーナーはなりなさいと言われてなっているのではなく、自らの好奇心と探求心に純粋に従い、能動的に学問をやりたいという熱い思いを持つ人です。大学生という「好きなことを好きなだけ学んでも許される時間」を大切に、この大学生のうちに自分の人生を自分で満足させられるような学びの礎を築いてください。
- ・基幹教育奨励賞は自らが先駆けて活動したいという学生に対して「自信」と「きっかけ」を与えてくれるものです。自分がやりたいことに対してまっすぐ向き合ってもらいたい。「やりたいことが思いっきりできる」ことは学生の特権であり、失敗・成功を問わずその経験は皆さんの人生において大きな糧となる。経験から得た「知」を積極的に発信して欲しい。
- ・基幹教育奨励賞の奨学金は「ここに行きたい！」「これをやりたい！」と思ったときに生じるためらいを払拭してくれるものだと思います。やってみたいことができた時は、やらなくて後悔する前にどんどん行動に移してみてください。
- ・まずは基幹教育奨励賞を受賞してきた自分の頑張りを讃えてください！高校までの勉強とは違った、大学の学びの中で、たゆまぬ努力を続けられるその姿勢は素晴らしいと思います。これからは自分がしたい勉強ができる時間が多くありますが、自分の興味関心の中で「貫く、尖る」ポイントを見つけてみてください。それがあなたの強みになります。基幹教育奨励賞を最大限活用して、自分の強みを見つけよう！
- ・とにかく新しい環境にどんどん飛び込むようにすること、できるだけ多くの人と交流を持つように努めることをお勧めします。
- ・基幹教育奨励賞を目指して勉学に励んでいれば、専門科目の学習で必要な基礎を固めることができ、充実した大学生活を送る上での道標になってくれます。
- ・失敗してもいいからチャレンジのために奨学金を利用してみてください。
- ・私は障害がありますが、基幹教育奨励賞を受賞しました。本年度、無事卒業を迎えます。九州大学では障害の有無に関わらず努力の結果を必ず評価してもらえます。例えばハンデがあっても自信を持って頑張ってください。応援しています！
- ・自身の学習にこれまで以上に責任を持ち、取り組むことができるようになると思います。
- ・基幹教育奨励賞の受賞は、ゴール地点ではなく、更なる学びのスタート地点だったと思います。自分の将来を見直すきっかけとして捉え、色々なことに挑戦してください。

- ・奨学金のおかげで迷ったら参加するという選択をとることができ、いろいろな経験を得ることができました。皆さんもこの奨学金を使って、迷ったら参加してみることをお勧めします！
- ・私はこの基幹教育奨励賞の受賞により、今まで目を向けてこなかった留学や学会参加などの学修活動に興味を持つようになりました。全てを実施できたわけではありませんが、今後働いていくうえで糧となる経験を得ることができたと思います。私のように留学などにあまり興味を持っていなかった人にとって基幹教育奨励賞はとても良いきっかけだと思うので、ぜひ色々なことに挑戦してみてください。
- ・通常の課程の履修に付け加えて、自身で計画した学修に長期的に取り組むということには、より高い時間管理の能力が求められます。しかし、ゼミや研究室で研究を行う、または社会に出て労働するといった将来を見据えると、限られた時間で学修活動を行う経験は、それ自体が人生の糧となります。自らの努力で掴んだ機会を最大限に活かし、アクティブ・ラーナーとして更なる飛躍を遂げられるよう、応援しています。